

第3次九州観光戦略の骨子（案）について

1 第2次九州観光戦略（現行戦略）の状況等

○第2次九州観光戦略（平成19年10月策定：平成20～22年度）

(1) 目標 ・延べ宿泊者数3年間で10%増(3,071万人泊から3,378万人泊へ)

→平成20年3,055万人泊

→平成21年2,965万人泊

・入国外国人数100万人 →平成20年87万人

→平成21年60万人

(2) 観光を取り巻く環境の急激な変化

・経済環境の悪化 ・新型インフルエンザの流行 等

(3) 全国と比較した九州観光の状況

・全国的に厳しい状況にあって、平成20年は他地域に比べマイナスに転じたものの、21年の落ち込みは相対的に浅い

(平成21年の対前年比

北海道△6.8% 沖縄△6.6%に対し、九州は△5.2%)

※ 参考：第1次九州観光戦略（平成16年10月策定：平成17～19年度）

目標 ・宿泊者数4,582万人→概ね達成（統計数値変更）

・入国外国人数74万人→達成（93万人）

2 今後（3次戦略に向けて）の九州観光を取り巻く状況

○観光立国推進基本法の制定（H18）、基本計画の策定（H19） ○観光庁の設置（H20）

○九州新幹線鹿児島ルートの特急全線開通（H23春） ○高速道料金体系の見直し

○羽田空港の拡張 等

3 第3次戦略策定の基本的な考え方

○基本理念である「九州一体となった観光の推進」の再確認と連携の一層の強化

○今後の九州観光のあり方の中での九州観光推進機構の担う役割の明確化

○観光立国推進基本計画との整合

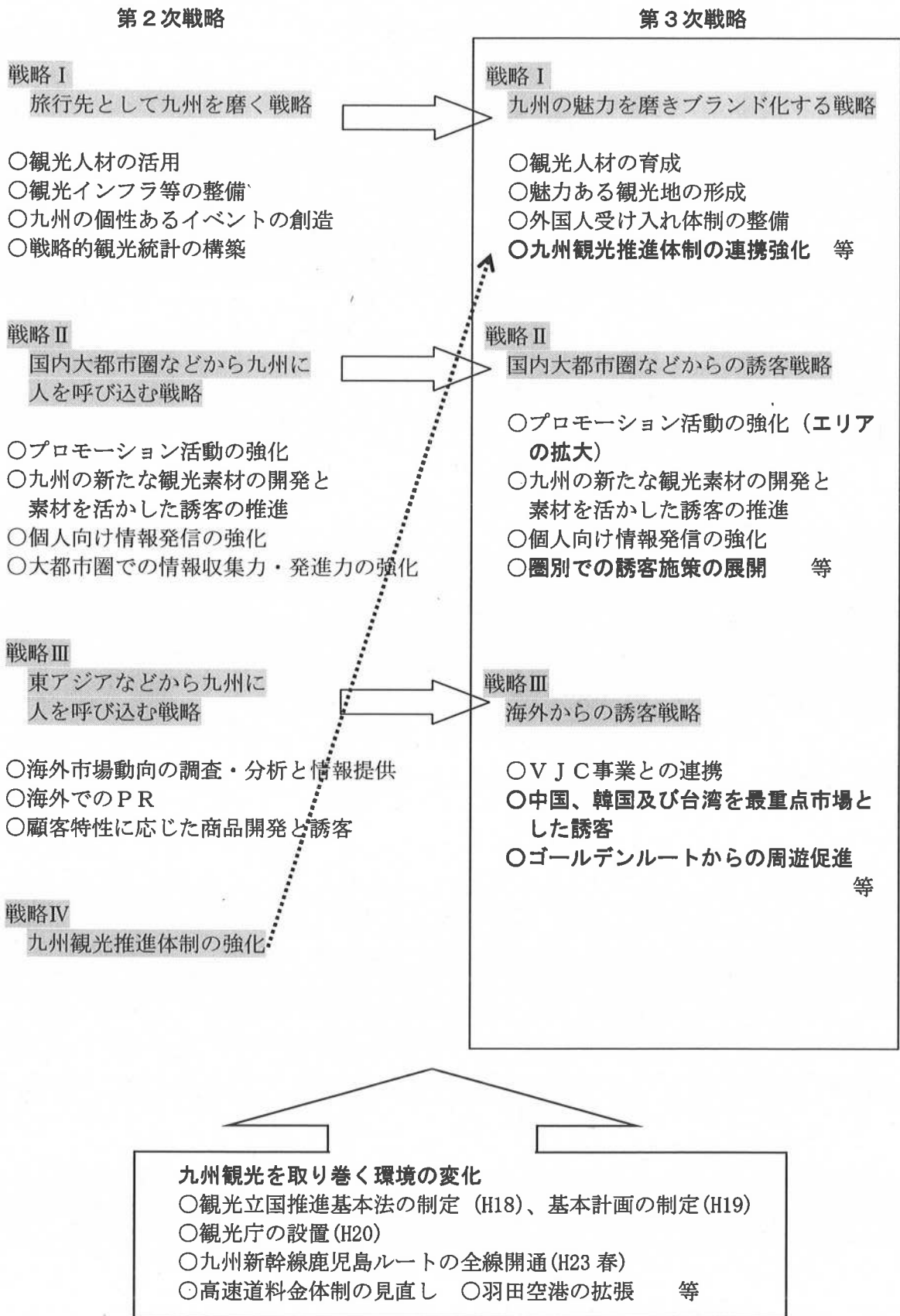
4 第3次戦略の骨子（案）

- ①基本的な考え方
- ②計画期間（平成23年度から25年度）
- ③第3次戦略（別紙「第3次九州観光戦略の施策体系（骨子）」
及び「第3次九州観光戦略（概要）」）
- ④目標の設定
 - 〈数値目標〉
 - ・延べ宿泊者数
 - ・入国外国人数及び九州来訪外国人数
 - 〈観光の質の目標設定〉
 - ・満足度調査の実施
 - ・経済効果の把握

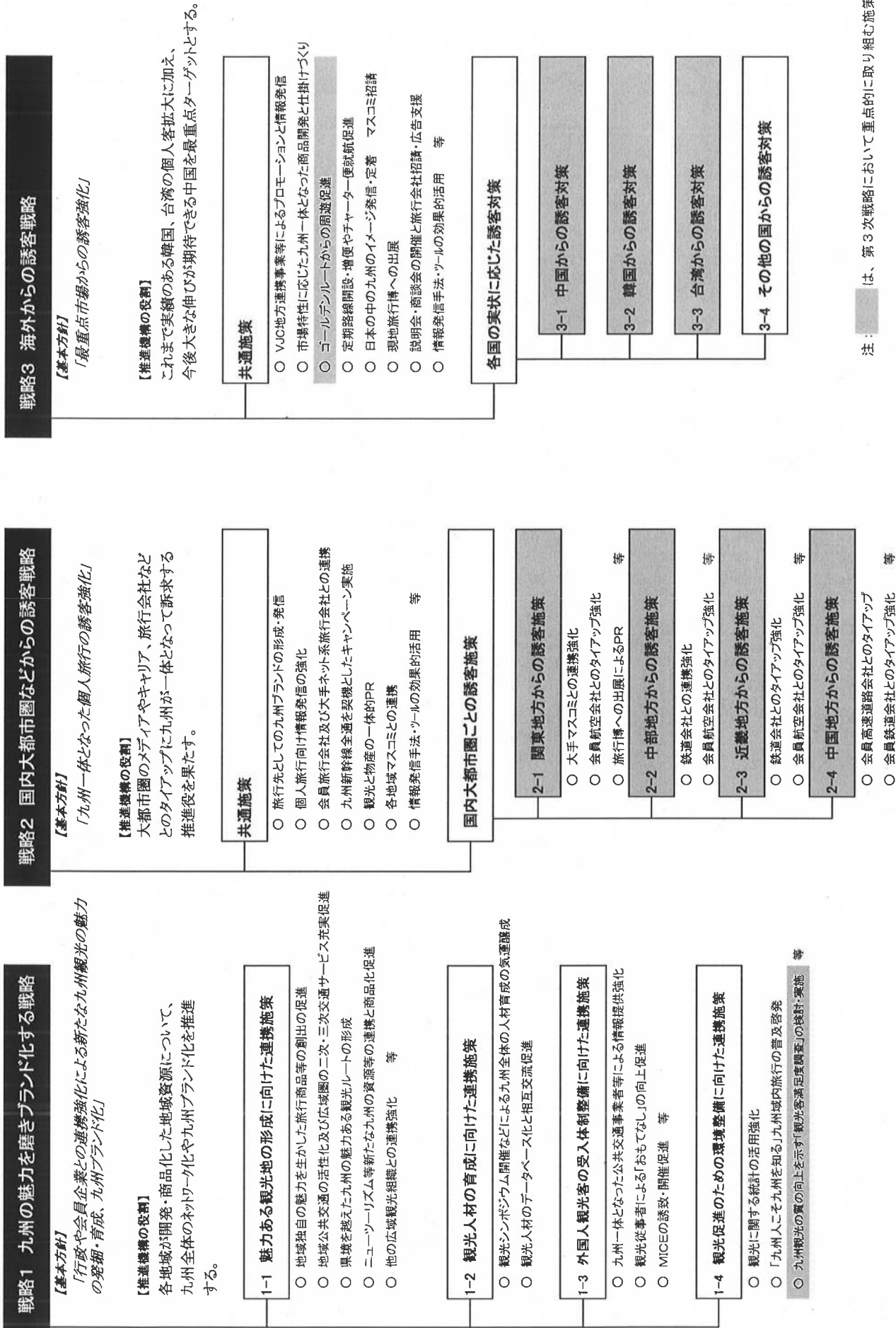
5 策定スケジュール

- | | | | |
|---|-------|--------------|-------|
| ○ | 4月27日 | 九州地域戦略会議幹事会 | 骨子案説明 |
| ○ | 5月18日 | 九州観光戦略委員会部会 | 骨子案説明 |
| ○ | 5月20日 | 九州観光戦略委員会 | 骨子案説明 |
| ○ | 5月26日 | 九州地域戦略会議 | 骨子承認 |
| ○ | 8月5日 | 夏季セミナー | 素案説明 |
| ○ | 9月 | 九州観光戦略委員会・部会 | 素案説明 |
| ○ | 9月下旬 | 九州地域戦略会議幹事会 | 戦略案説明 |
| ○ | 10月 | 九州地域戦略会議 | 戦略承認 |

第3次九州観光戦略の施策体系（骨子）



第3次九州観光戦略(概要) 主要施策体系



注： は、第3次戦略において重点的に取り組む施策